

おみたま



～ 短冊に 願いを込めて ～

(玉里幼稚園)

6月定例会

マル福 支給対象年齢を拡大！ (主な議案) P 2-3

各種事業の進展は (委員会QA) P 4-5

後期の総合計画 優先度見極めよ (一般質問) P 6-13

特別委員会の報告 P 14

プレゼントクイズ、市民の声ほか P 15-16

平成 25 年第 2 回定例会

6 月 6 日～ 21 日の会期で開催



11 日 4 名、12 日 3 名の議員が一般質問を行った (12 日、傍聴席から撮影)

平成 25 年第 2 回定例会は、6 月 6 日から 21 日までの 16 日間の会期で開かれ、15 件の議案等と 3 件の請願について審議しました。この中には、公平委員会委員、教育委員会委員、人権擁護委員の人事案件などが含まれており、市長から提案された議案等はすべて可決（承認・同意）されました。また、6 月 11 日、12 日には、7 人の議員が一般質問に立ち、市政を質しました。

6 月定例会でこんなことが決まりました！

■ マル福対象者を拡大

今回の改正により、現行小学 3 年生までだった医療福祉費の支給対象者が平成 25 年 10 月診療分から中学 3 年生までに拡大する。（議案 49 号）

■ 意見書を国へ提出

「国益に反する TPP に参加しないことを求める請願」を採択

この意見を無にすることなく、国へ伝え、今後の交渉に臨んでもらいたい、「この時期に採択し、国へ意見書を出すべき」との意見があった。審査の結果、本案件 3 件は、賛成多数で採択。本会議でも委員長報告のとおり可決し、意見書は国の関係機関に送付した。（請願 1 号～3 号）「提出先」衆参議院議長、内閣総理・外務・農林水産・経済産業大臣、内閣府特命担当（経済再生担当）大臣、内閣官房長官

この請願は、総務常任委員会に付託され、審査されました。委員間の議論では、「政府は来月、TPP への参加交渉を始めると前向きに進めており、われわれ市議会は、その交渉の如何を見て進めてはどうか」、「審査を継続してはどうか」等の意見と、「地方の声を届けるのがわれわれ地方議員の役割と考える。こ

一般会計補正予算の主なもの

	項目	補正額
歳入	国庫補助金（土木費）	1 億 6,830 ↓
	民生費県補助金（県支出金）	8,738 ↑
	基金繰入金（繰入金）	3,487 ↑
	合併特例債（市債）	2 億 2,450 ↓
歳出	民間保育所施設整備事業	9,830 ↑
	農業経営支援事業	2,635 ↑
	道路橋梁維持管理費	2 億 4,663 ↓
	（仮称）大井戸湖岸公園整備事業費	1 億 7,324 ↓
	放課後児童クラブ専用室設置工事	700 ↑
	各地区公民館整備費補助金	1,196 ↑

（議案 52 号、単位：万円）

6月 定例会 審議結果 (全 18 件)

No	議案等の名称 ～主な内容～	結果	委員会審査
----	---------------	----	-------

■ 専決処分の承認 (3 件)

1	税条例の一部を改正する条例 ～地方税法等の改正に伴うもの～	◎	— —
2	国民健康保険税条例の一部を改正する条例 ～地方税法の改正に伴うもの～	◎	— —
3	平成 24 年度 一般会計 補正予算 ～繰越明許費の補正で 5 事業を追加し、 4 事業を変更するもの～	◎	— —

■ 条例の制定 (1 件)・一部改正 (3 件)

48	子ども・子育て会議条例 ～子ども・子育て支援法の施行に伴い新たに制定するもの～	◎	文 ◎
49	医療福祉費支給に関する条例の一部 を改正する条例 ～医療福祉費の支給対象者を平成 25 年 10 月診療分から 中学 3 年生までの者に拡大するため改正するもの～	◎	文 ◎
50	農業集落排水処理施設条例の一部を 改正する条例 ～巴中部地区農業集落排水施設の一部供用開始に伴い 改正するもの～	◎	産 ◎
51	農業集落排水事業分担金に関する条 例の一部を改正する条例 ～巴中部地区の分担金の額を公共ます 1 カ所につき 27 万円として追加するもの～	◎	産 ◎

No	議案等の名称 ～主な内容～	結果	委員会審査
----	---------------	----	-------

■平成 25 年度 補正予算 (3 件)

52	一般会計 [補正額]2 億 4,544 万 3 千円 ↓ [補正後額] 217 億 2,455 万 7 千円	◎	各 ◎
53	下水道事業 [補正額] 2 億 290 万円 ↑ [補正後額] 20 億 302 万円	◎	産 ◎
54	病院事業 収益的支出 [補正額] 247 万 9 千円 ↓ [補正後額] 2 億 9,850 万 3 千円	◎	文 ◎

■ 人 事 (4 件)

56	公平委員会委員の選任 (追加) ～任期満了に伴い、柳澤 邦夫 氏を再任～	◎	— —
57	教育委員会委員の任命 (追加) ～任期満了に伴い、中村 三喜 氏を再任～	◎	— —
58	教育委員会委員の任命 (追加) ～前委員の辞職に伴い、野手 利江 氏を任命～	◎	— —
1	人権擁護委員の推薦 (追加) ～任期満了に伴い、久保田 博之 氏を再任～	◎	— —

■ その他 (1 件)

55	市道路線の変更 ～中延地内市道で地籍図上及び現況で存在しない区間 を廃止し、終点の位置を変更するもの～	◎	産 ◎
----	---	---	-----

■ 請 願 (3 件)

1	国益に反する TPP に参加しないこと を求める請願 請願者：常陸小川農業協同組合 紹介議員：藤井敏生議員	◎	総 ◎
2	国益に反する TPP に参加しないこと を求める請願 請願者：美野里町農業協同組合 紹介議員：木名瀬幸吉議員、小川賢治議員	◎	総 ◎
3	国益に反する TPP に参加しないこと を求める請願 請願者：美野里酪農業協同組合 紹介議員：木名瀬幸吉議員	◎	総 ◎

「永年勤続表彰」を受賞

■ 全国市議会議長会表彰

- 議員 15 年以上 荒川 一秀
- 議員 10 年以上 萩原 茂

■ 茨城県市議会議長会表彰

- 議員 15 年以上 荒川 一秀
- 議員 8 年以上 大槻 良明、藤井 敏生、
山本 信子



審議結果の表記・見方

- [審査委員会] 総：総 務、文：文教福祉、
産：産業建設、各：各所管委員会
[賛 否] ◎：全会一致で可決 (または承認、同意、採択)、
○：賛成多数で可決、×：賛成少数で否決

委員会 審査 Q & A

各委員会に付託された 11 議案を審査

本会議で付託された 11 件の議案について、13 日から 17 日にかけて行われた各常任委員会で審査しました。各常任委員会での審査状況について、主な質疑応答の内容をお知らせします。

総務

戸別受信機設置の進捗状況

Q 美野里地区での設置状況は？

A 希望する各世帯への設置率は、5 月末現在で 51% となっている。

Q 設置が遅れている行政区は？

A 花野井、中台、小曾納、大谷、江戸、北浦等がこれから工事になる予定。

Q 設置が遅れている理由は？

A 設置は世帯の方の立ち会いのもとで行うので、事前連絡がつかなかったり、設置のタイミングが合わなかったりしたこと、設置工事に入った地域で電波状態の不安定なところがあったため、総務省とその改善策を協議しており、許可を待っているため。

Q その改善策とは？

A 許可の要望としては、電波を出す放送塔の出力アップやアンテナの向きの調整をお願いしているところである。

○ 戸別受信機が設置されたが、放送が聞こえづらいなどの不安に対してはしっかりと対応していただきたい。

適正な職員の人事異動を

Q 人事異動の希望はとっているか？

A 同一部署 3 年以上の職員については希望をとっている。

Q 同一部署に 10 年以上の職員がいるが、偏りはないか？

A 職員の適材適所を考えるとともに、全体を考えた場合に確かに長く職員を置くこともある。今後はよく検討していきたい。

○ 職員が立派な人材として育成されるよう改善策を考えていきたい。

文教福祉

マル福制度

中学 3 年生まで拡大

Q 子どものマル福対象年齢が拡大されるが、その概要は？

A 対象年齢がこれまで 0 歳から小学 3 年生までだったものを、中学 3 年生まで拡大する。

Q 対象者が制度を利用するときの自己負担は？

A 例えば、外来のときは、医療機関ごとに 1 回 600 円を上限に、

月 2 回までの自己負担を支払う。入院のときは、1 日 300 円の自己負担。1 カ月最大 3,000 円まで負担する。薬局の分の自己負担はない。

Q 財源は？ 国県からの補助はあるのか？

A ない。拡充した分は、すべて市の財源でまかなう。

埋蔵文化財発掘調査費の増額補正(竹原小改築に伴う遺跡発掘)

Q 埋蔵文化財発掘調査費の増額補正が計上されているが？

A 小川地区の道路工事及び、竹原小建替え工事に伴うもの。

Q 竹原小学校建替え工事が、現在進められているが、工期が遅れるなどの支障はないか？

A 竹原小学校遺跡については、既に試掘作業を実施し、竪穴住居跡などの炉址があるということを確認している。本発掘調査は、給食配膳車のプラットフォームに遺構がある可能性が高いと思われるため、給食のない夏休み期間中に実施する予定。校舎の建築には支障がないように計画している。

旧小川高校のグラウンドと体育館が利用可能に！



仮校舎建設地となるプール跡地が更地に
(竹原小学校)

Q 旧小川高校のグラウンドと体育館を市が借用したが、その概要は？
A 平成25年度末までの期限付きで、無償で県から借用した。借用しているのは、グラウンド、体育館（1階柔剣道場と多目的室・2階アリーナ）のみ、市民に貸し出しをしている。
Q 仮設トイレが設置されているか？
A 高校の水道設備の構造上、校内の水道が使えないので、飲み水は持参してもらっている。また、トイレは仮設トイレを男女4基ずつ設置している。

産業建設

農業集落排水施設について



文教福祉常任委員会で旧小川高校グラウンド等を視察

○ 不便なので、水道が使えるように考えていただきたい。

Q 巴中部地区農業集落排水施設に「小美玉温泉ことぶき」の排水をつなぐと聞いたが、処理能力に問題はないのか？
A 巴中部地区農業集落排水施設は最大処理人口を1,720人分計画しており、ことぶきの排水をつないでも約1,560人分程度を想定しているため、許容範囲と考えている。

(仮称) 大井戸湖岸公園の進捗状況

Q 地元でも期待の大きい大井戸湖岸公園整備の進捗状況はどこまで進んでいるのか？
A 法面が8割近く完成している。今年度は建物、駐車場、芝生、最後に進入路の舗装作業を行い、完成する予定。

特定被災地方公共団体借換債を活用

Q 下水道事業で特定被災地方公共団体借換債を活用するメリットは？
A この制度は、特定被災地方公共団体の復旧・復興を支援するための制度で、この借換債を活用することにより約3,200万円の歳出削減になる。



産業建設常任委員会で(仮称)「空の駅」の現地を視察

6月定例会日程

日程	会議等の主な内容	傍聴
6日	本会議 (開会、議案上程)	3名
11日	本会議(一般質問)	2名
12日	本会議(一般質問、質疑、討論、委員会付託、追加議案上程)	4名
13日	産業建設常任委員会	—
14日	文教福祉常任委員会	—
17日	総務常任委員会 議員提案条例等調査特別委員会	5名
18日	百里基地・茨城空港対策特別委員会	—
19日	新市建設計画推進特別委員会、行財政改革特別委員会 合同委員会	—
20日	広報特別委員会	—
21日	議会運営委員会 本会議(討論、採決、閉会)	1名



緊急経済対策?・・・財政出動、大胆な金融緩和、成長戦略を「3本の矢」とした「アベノミクス」のうち、財政出動を中心にした景気浮揚策。60万人の雇用創出等を目指し、24年度補正予算案と25年度予算案に盛り込んだ。

議案に対する質問・意見

■質疑(議案54号、小川議員)

Q 病院事業会計補正予算のうち、患者送迎車両運転業務委託料が500万円ほど減額されているが、その理由は。

A 昨年度までは市がシルバー人材センターに業務委託して患者送迎車両の運行を行っていたが、平成25年度から新たな指定管理者である古宿会との調整を図り、患者送迎業務を指定管理者に担わせることになったため。これにより、毎年約500万円の経費が削減できると。

Q 患者送迎車両の運行コースで、美野里地区の現状は。

A 平成21年度から美野里地区の一部(三箇、上鶴田方面)まで運行経路を拡大した。今後は、運行実績等を検証し、運行経路の拡大や効率的な運行方法を検討し、1人でも多くの市民の期待に応えたいと考えている。

■質疑(議案48号、福島議員)

Q 小美玉市子ども・子育て会議は、どのようなことを決める会議なのか。

A 主な内容は、①保育所、幼稚園、認定こども園等の利用定員の設定、②子ども・子育て支援事業計画の策定及び変更、③子ども・子育て支援に関する施策の総合的かつ計画的な推進に関する必要な事項及び当該施策の実施状況の調査やこれらに関する審議を行う。

Q 認定こども園の保育料はどういう形で決めていくのか。公的な保育所がなくなろうとしている今、この会議の構成メンバーには本当に子どもの立場に立った考えの人を選んでいただきたい。

A 保育料は、基本的に認定こども園で設定する。構成メンバーについては、子ども・子育て支援に関して学識経験のある方、同支援に関する事業に従事する方、子どもも保護者、また市長が必要と認める方など15名以内となっている。

一般質問

市民の声を市政に



- ◇ 山本 信子 (7ページ)
 - ◇ 福島 ヤヨヒ (8ページ)
 - ◇ 田村 昌男 (9ページ)
 - ◇ 長島 幸男 (10ページ)
 - ◇ 小川 賢治 (11ページ)
 - ◇ 谷仲 和雄 (12ページ)
 - ◇ 戸田 見成 (13ページ)
- (※一般質問は、次ページから)

非構造部材?・・・天井や窓、照明器具など主体構造部以外の部材のこと。東日本大震災では、学校体育館の天井などが落下し、避難所として使用できなくなったり、命を落とす原因となった。



山本 信子

課題は、この小型家電リサイクルの回収システムとして、ボックス回収、ステーション回収などさまざまな方法の中から、人員の配置や回収コストが増大しない方法の確立や、制度対象28品目の何を回収するか、国の認定する引き渡し業者がいまだ決まっていらないことなどがあげられる。

小型家電 回収の現状と課題は

回収量を増やし、回収システムを確立していく

Q 小型家電リサイクル法が25年4月1日より施行された。本市ではすでに実施されているが、現状と課題は。

A 市民生活部長 本市では、以前からパソコン、携帯電話以外の小型家電製品の回収をしていたが、小型家電リサイクル法が施行された4月からは不燃ごみの中からパソコン、携帯電話のピックアップ回収を始めた。霞台厚生施設組合環境センターでは2カ月でノートパソコン200kg、携帯電話50kgを回収している。今後は選別品目を増やし、月当たり3tの回収を見込んでいる。また茨城美野里環境組合クリーンセンターでは、2カ月で4tの小型家電をピックアップ回収し、月当たり2tの回収を見込んでいる。

***小型家電リサイクル法**・・・使用済みの小型電子機器などに利用されている金属など有用な資源をリサイクルするための法律。対商品目は、携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、電子レンジなどで、家電リサイクル法で回収されているエアコン、冷蔵庫、洗濯機以外の小型家電製品をすべて回収することとする。



Q 緊急経済対策について

緊急経済対策3億7,990万円には、公立学校の耐震化や老朽化対策、非構造部材の耐震対策などを盛り込んでいるか。また、その他の事業計画として、幅広く学校のトイレの改修や太陽光発電等も事業化すべきではないか。

A 企画財政部長 学校の耐震化工事等は、最優先課題として着手している。また、非構造部材の耐震化については、今年度も野田小学校の体育館補強工事に併せ対策を行う予定となっている。

また、学校のトイレや太陽光発



緊急経済対策費で今年度に耐震補強工事が行われる(野田小学校体育館)

電の導入については、学校施設環境改善交付金あるいはこの緊急経済対策でも導入は可能なので、今後、調整を図りながら進めていきたい。

A 教育次長 確かに学校によってトイレに格差があるので、建て替えの進んでいない学校については今年度中に全てのトイレを調べ、十分に検討していきたい。

○ 学校の建て替えはしなくとも、学校のトイレでひどいところは、改修していただきたい。



福島ヤヨヒ

Q 風疹予防接種に補助を

本市でも風疹の大流行が心配されている。妊娠初期に罹患すると胎児が先天性風疹症候群になる恐れがあることから、風疹の予防接種に対する補助制度の実現を。

A 保健衛生部長

現在は乳幼児期に2回(1期、1歳以上2歳未満児対象、2期、5歳以上7歳未満の児童対象)の予防接種を行っているが、平成7年4月1日以前に生まれた方で、予防接種を受けていない妊娠を希望する女性とその夫(内縁または結婚予定者も含む)等に、本年4月にさかのぼって、来年3月まで接種費用の半額程度を助成する。

Q 孤独死を生み出さない取り組みと地域の絆づくりは

A 福祉部長

高齢者の閉じこもり防止や見守り事業としての愛の定期便事業・配食サービス事業・ふれあい給食サービス・緊急通報システムなどの活用を促進するとともに、外出支援事業(タクシー券発行)の拡充を行った。

また、絆づくりのコミュニティ

活動の活発化を図るためのまちづくり行動計画に基づき、市民主体のまちづくりやリーダーの養成に努めるなど、地域力の向上を高めるとともに、災害時の安否確認・支援が迅速にできるよう災害要援護者支援に取り組んでいきたい。



竹原コミュニティで部室の神社を見学

Q 子どもに対しての不審者対策など社会を明るくする対策は

A 教育次長

不審者対策は全市を挙げて防止活動に努めたい。あいさつ運動も、過剰な警戒心を抱かないような安全確保を地域の皆さんと連携しながら検討したい。通

Q 女性管理職の登用を

住民サービスを低下させないために、部長と課長兼務の職員対応は如何か。女性管理職の登用は審議委員(23%)等と同様の目標を。

A 総務部長

住民サービスの低下を招くことのない、合理的で効率的な組織の構築に努める。

また女性職員の占める割合は約40%で管理職に含まれる割合では約12%となっている。今後は目標値を定め、登用率の向上に努めていく。



「子ども110番の家」、市内1,224カ所に設置されている

学路の防犯灯も地域の要請にしっかりと対応し設置を推進していく。公共施設の玄関先にセンサー付きの照明も、安全確保のために検討をしていく。

安心・安全なまちづくりを

絆づくり、地域力の向上に努める



田村 昌男

最優先で生活道路の整備を

補助金等の財源を確保し、整備に努力する

Q 市民が必要としているのは生活道路の整備である。地元区長から何回となく申請が出されている市道小2004号線、市道小2007号線の整備を行う予定はあるのか。

A 市長 生活道路は各行政区からの要望を踏まえ、効率的な整備を行っているが、財源的な制約があり多くの未着手の路線がある。本来ならば、生活道路を最優先に行わなければならないところだが、合併特例債が活用できる期限も限られているうえ、早期に新市としての一体感を醸成する必要性があり、当面は幹線道路の整備を重点的に実施しなければならぬと考えている。

小川地区の道路整備の多くは補助率の高い再編交付金事業により実施しており、その交付期限となる28年度以降も交付を受けられるよう要望を続けながら道路整備に努力したい。

野田・佐才を通る市道小2004号線については、平成5年と21年に要望書が出ており、その後事業を実施したが、県道紅葉石岡線から約450mの区間が未実施と

なっている。この路線については、今後の地域交通を勘案しながら効率的に進めなければならぬと考えている。

また、山野地内を通る市道小2007号線については、平成5年に要望が出され、測量を実施した経過があるが、県道「茨城空港線」の整備により事業が中断されたような状況である。この路線については、付近の道路整備を実施していることや、(仮称)「空の駅」の周辺地域であるので早期に事業を実施していかなくてはならない路線と認識している。

Q 通学路歩道整備について

市道小110号線は、トヨペックト野田店前の市道で、小中学生が登下校に使う道路であるが、一部歩道が整備されていない。子どもたちが自動車の危険にさらされているので歩道整備を。

A 市長 学校周辺の道路は重点的に整備し、市内の小中学校には概ね歩道が設置されている。しかし、十分な幅員が確保されていないところも見受けられるため、今

後は歩道の再整備を考えていかなければならないと考えている。

平成24年度から28年度までに歩道延長で約10kmの歩道整備を実施し、各学校が行う安全点検の結果を十分尊重して、通学路の安全対策を実施していきたい。



十分な歩道幅員の確保が望まれる市道小103号線(野田地内)



長島 幸男

地域福祉推進体制の整備・充実を

第5期介護保険事業計画に沿って整備する



安心して介護サービスを受ける利用者

Q 地域の人たちがともに支え、ともに暮らせる地域福祉推進体制の整備が重要と考えるが、高齢者の現況と高齢者福祉施設の整備状況は。

A 福祉部長 本市の65歳以上の高齢者数は1万2,263人で、うち要支援、要介護認定者は、1号・2号被保険者を併せ1,720人いる。そのうち介護サービス利用者は1,411人で、利用率は約82%という状況となっている。

また、市内入所施設の待機者は、特別養護老人ホームが118名、うち小美玉市内の方は53名、高齢者グ

ループホームは8名で全て小美玉市の方となっている。

今後は、第5期介護保険事業計画に沿って、美野里地区内に特別養護老人ホームの新設を1カ所、小川地区内に高齢者グループホームの新設を1カ所と既存の高齢者グループホーム1施設において増設の認可を受け、整備を進めている。

Q 人口減少と定住促進対策、若い人が定住するまちを

A 企画財政部長 将来人口推計で減少が報じられ、本市の発展には、定住促進対策（少子化・人口減少対策）が重要課題と認識している。

後期基本計画では、地域内の交流の深化、市内外との交流の活性化、安全で安心できる環境の3つを重点施策とし、市民が「住んで良かった、住み続けたい」と感じられる地域づくり、災害に強いまちづくりを指し事業を展開している。

これまでの成果としては住環境の整備で、茨城空港の開港や空港関連道路などの広域的な交通ネットワークの充実が図られ、ここ2年間の人口（社会動態）がわずかながら増加

している。今後とも広域的な交通インフラのさらなる充実・整備や企業誘致の推進など、住みよい環境づくり、働く場の確保に努めていく。

A 産業経済部長 定住促進対策に関連する茨城空港に隣接の空港テクノパークの企業誘致問題については、昨年から全体的な見直しを行っており、大区画化による企業誘致に取り組んでいる。

【県内の2040年推計人口】

	2010年人口	2040年人口	指数	65歳以上比率(%)
県	2,969,770	2,422,744	81.6	36.4
小美玉市	52,279	41,468	79.3	34.4
石岡市	79,687	58,471	73.4	41.7
笠間市	79,409	58,989	74.3	39.5
鉾田市	50,156	37,639	75.0	37.3
行方市	37,611	23,748	63.1	41.2

※指数は2010年を100とした場合の比較（資料：茨城新聞）



小川 賢治

各区公民館建替え 経費の住民負担の軽減を

補助率や限度額の適正な見直しを検討する

Q 老朽化した地区公民館の建替え経費を住民が自己負担するところが美野里地域や一部の小川地域にある。公民館は地域コミュニティの重要な場であるという観点から、住民負担を軽減し、百里基地周辺地区との格差を少しでも軽減していただきたい。

A 教育次長 本市には、昭和30年代、昭和40年代に建設された各区公民館が20カ所ほどあり、その整備は、「小美玉市各地区公民館整備補助金」と、再編交付金の交付に伴い公民館の整備にあたり定めた百里基地周辺地区（対象：騒音区域に属する26行政区）に関する基準により実施している。百里基地周辺地区の公民館整備は今年度3地区を予定しており、25年度末で16地区が完了し、6地区を残すところとなる。

老朽化に伴い建替えを余儀なくされている各地区の負担は大きいものと想定されるので、補助率や限度額の適正な見直しを検討していきたい。

○ ぜひ補助のない区域に住む住民の自己負担軽減策を考えていただきたい。



老朽化が進む地区公民館の1つ

Q 国道6号美野里バイパスの整備促進の現況は

現在、石岡村上六軒線が着工されたが、6号国道へのアクセス混雑が予想されている。東大橋地内、園部川までの区間の都市計画決定を受けているが、未事業化となっている。事業認可を受け、さらに美野里バイパスを早期に都市計画決定できるよう期待しているが。

A 都市建設部長

国道6号バイパスは千代田石岡バイパスが、平成9年3月に土浦市中貫から石岡市東大橋までの延長15・7kmが都市計画決定され、平成10年度にかす

みがうら市市川から石岡市東大橋までの5・8km区間が事業化され、事業が進められている。

この間、石岡市、かすみみがうら市、小美玉市で構成する「国道6号バイパス建設促進期成会」において、事業の促進と「美野里バイパス」の都市計画決定について、国に要望しているところ。

国は、「美野里バイパス」の都市計画決定について、「千代田石岡バイパス」の整備状況を勘案し行うこととしている状況である。

国道6号美野里バイパスは本市のまちづくりを推進するうえで重要な道路であることから、今後早期都市計画決定を粘り強く要望していきたい。



工事が始められた都計道村上六軒線（石岡市）

百里基地周辺地区?・・・上吉影、前原、飯前、上合、前野、下吉影宿、荒地、本田、貝谷、南原、古新田、百里自営、百里開拓、羽木上、与沢、外之内、倉敷川前、倉敷川向、与沢百里、清水頭、山川、小川ニュータウン、幡谷、田中台、山野、伏沼の26行政区のこと。



谷仲 和雄

補助金改革の方向性は

運営費補助から事業費補助へ

Q 現在、本市では第2次行財政改革に取り組んでいるが、自主財源の確保と有効活用という観点から、①収納率向上に向けた納税等の利便性向上への取り組みは。②補助金等の見直しの経緯と実績。③P D C A サイクルのもと補助金等の見直しは継続されると思うが、これからの方向性は。④本市の理念と計画に基づきながら補助事業の優先順位付けが必要では。

A 企画財政部長

①口座振替を推進し、期限内納付の拡充を図るため、平成23年12月から電子決済サービスによる市税等の口座振替受付を開始した。また、オンライン申請によるクレジットカード収納の運用開始に向け準備を進めている。

コンビニエンスストア収納については、費用対効果、前納報奨金等の取扱いが出来なくなる点、従来の口座振替利用者がコンビニエンス収納へ移行する傾向などを鑑み、検証の余地が残る。

②税金の使途の透明性を高めるため平成19年2月に答申された「補助金の見直し基準」を基に補助事

業としての公益性や効果等を検証、審査対象は市単独補助金。

平成20年度の市補助金等審議会による市単独補助金117件の評価・意見等を踏まえ22件を廃止。平成18年度を基準年度とすると5年間で約9,500万円の削減となった。

③運営費補助から、補助金の使途と事業効果が明確な事業費補助への転換を目指す。個々の目的、必要性、効果性、補助金の持つ背景等を見据えたうえで費用対効果や経費負担のあり方等を検証し、見直し基準に基づいて見直しを進めるとともに広く説明責任を果たす。

④後期基本計画の実施計画の中で事業の選択と集中、優先順位を付け、全体的に進めて行く中で補助金改革も進めて行く必要がある。

Q 防犯灯の設置・維持管理について

A 危機管理監

市内全域の防犯灯数は約4,800基、新設及び修繕は平成23年度、新設175基・修繕373基、24年度、新設118基・修繕341基。

今年度の申請件数は5月末現在、新設94基・修繕116基と増加傾向にあるが予算を確保しながら順次整備を図る。

維持管理等は、市防犯灯設置及び維持管理要綱の規定に基づいて実施する。各行政区のご理解とご協力が大変重要と考える。従来の周知方法に加え、ホームページや広報紙の活用を図り、行政区との連携により適切な維持管理に努める。



第4回健康まつり「ふれあい運動会」
(さわやかな野田をつくる会)

6次産業?・・・農業や水産業などの第一次産業が食品加工・流通販売にも業務展開している経営形態(経営の多角化)を表す。



戸田 見成

本市独自の農業振興計画を策定せよ

持続可能な農業支援策を展開していく

Q 本市の農業振興策は
TPPや農業所得倍増計画等の国策が進む中、本市の基幹産業である農業の将来をどう考えているか。

A 産業経済部長 「人・農地プラン」に基づき、認定農業者を中心に、農地集積への補助事業や融資の優遇措置などの支援策を行いながら生産基盤整備を図り、持続可能な農業を展開していきたい。また、経営規模に応じた多様な販売先確保のひとつとして、(仮称)「空の駅」の中にも直売施設ができるので、6次産業振興を考えている。

Q 後期基本計画をどのように推進するのか

A 企画財政部長 国・県の動向のみならず市民のニーズ等をより早く、的確に捉え、将来を見据えた戦略的なまちづくりを進めることが重要と認識している。また、国や先進自治体の情報収集を行い、限られた予算の中で効率的、効果的な事業展開を図っていきたい。

そのためには、予算の重点化が必要となるので、各部署と密接に連携を図り、情報の共有や実施す

べき事業の的確な優先度、緊急性、政策との調整を図っていく。



今後5年間の小美玉市総合計画後期基本計画(平成25年3月策定)

Q 安全・安心のまちづくり(消防施策)は
小川の大火から1年半が過ぎたが、安全・安心のまちづくりをどのように進めているか。

A 消防長 川岸付近に今年度中に防火水槽を1基設置すべく努力をしている。また、各分団と消防本部が一体となり、総力を挙げて図上訓練、救助訓練等を行っている。

A 企画財政部長 まちづくり戦略室を中心に、都市建設部とも議論し、全庁的に考えていきたい。



図上訓練の様子(消防本部)

Q 災害対策について
総合訓練等が行われているが、末端の諸問題(障がい者や独居老人の避難、援助等)は整備されているか。また、災害時の市民向けの計画書を作成する考えはあるか。

A 福祉部長 災害時要援護者システムのの中で統一した援護ができるよう検討していく。また、2次避難所となる老人ホーム等との協定も進めていく。

A 危機管理監 地域防災計画では、さまざまな災害に対する役割と対応を明確にしている。また、職員初動マニュアルを改正し、対応の徹底を図っていく。今後、防災に関する市民向けの作成も検討していきたい。

議会基本条例、政治倫理条例を協議（6・17）

議員提案条例等調査特別委員会報告

①議会基本条例について

本条例の制定に向け、これまで当委員会が協議してきた結果をまとめ、全員協議会でお知らせするために話し合いをもった。

今後の予定は、7月26日の講演会を皮切りに、アドバイザーを入れながら当委員会で条例文の検討をしていくこととした。

また、8月には、同条例を制定している先進地視察を行うことを決定した。

【今後の予定】

●講演会 7月26日（金）

・演題「地方議会改革のアプローチ：基本条例制定を視野に入れながら」（講師）茨城大学 人文学部 社会科 学科 佐川泰弘教授

●先進地視察研修 8月19日（月）

・研修先 埼玉県飯能市議会（研修内容）議会改革の取り組み、基本条例制定に伴う活動、特色ある議会改革の取り組みなど。

②政治倫理条例について

本市議会では、同条例の改正について、昨年6月に一部改正を行っている。

しかし、1年が経過したにもかかわらず、「議員の3親等以内の親族に該当する業者が市の請負を行っている」という市民からの声があり、協議を行った。

委員からは、「条例が定められているのだから守るのは当然のこと



議員提案条例等調査特別委員会

である」、「市民から指摘を受けないように各議員が努力しなければならぬ」など、様々な意見があった。議長は当該議員に対し、条例を遵守するよう伝えた。

総合計画後期基本計画の進め方等について（6・19）

新市建設計画推進特別、行財政改革特別委員会 合同委員会報告

平成25年3月で終了した「総合計画前期基本計画（5年間）」の実績を踏まえ、新たに策定された後期基本計画を、議員が十分に熟知し計画内容を把握した中で、今後の計画に対し、評価、チェック、助言していこうという目的のもとに、これまで第1章から第7章までを4回に分割して、担当部署から詳細な説明を受けてきた。

当合同委員会は、今回が最終となることから、総括として、企画財政部長から後期基本計画の今後の進め方や、東日本大震災の影響による合併特例債の期間延長、ま

たその合併特例債の地方交付税充当率などを含め、詳細な説明を受けることができた。

委員からは、前期の結果を踏まえた中で、市民からの意見や要望を後期基本計画に反映していただきたいという要望が出された。

陳情活動等を協議（6・18）

百里基地・茨城空港 対策特別委員会報告

7月24日に防衛省北関東防衛局へ陳情活動を行うため、基地対策課より陳情書案の説明を受け、慎重審議の結果、10項目の陳情内容を決定した。

また、昨年度に実施した百里基地への陳情活動も引き続き実施することとした。



第28回プレゼントクイズ

*答えは議会広報第30号の中にあります。

問題は3つです。答えを書いて、下記の応募方法によりお送りください。正解した方の中から抽選で10名の方に、森のレストラン“キャトルセゾン”(四季の里内)の食事券1,000円分をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしています。

問① 平成25年第2回定例会で審議された議案等は全部で〇〇件？

問② 子どものマル福制度の対象範囲が小学3年生から〇〇3年生までに拡大された？

問③ 次回の平成25年第3回定例会の開催日は9月〇日？

◇応募方法

はがき・FAX・Eメールにて、住所・氏名・クイズの答えを明記してご応募ください。
また、議会や本紙に対するご意見やご感想を併せてお寄せください。

◇応募〆切

平成25年8月28日(水)まで *当日消印有効

◇応募先

〒319-0192 小美玉市堅倉835 “小美玉市役所 議会事務局”宛

FAX: 0299-48-1199 Eメール: gikai@city.omitama.lg.jp

☆応募に関する個人情報は、プレゼントの送付以外には利用をいたしません。

第27回クイズの当選者

37通のご応募をいただきました。
当選者は以下の方々です。

宮本	武之助さん	小澤	紹男さん
興津	朋子さん	鈴木	美知子さん
関	征夫さん	太田	昌宏さん
寺門	陽菜さん	久保田	とみさん
山元	薫さん	石井	亨さん

第27回クイズの正解

問① 平成25年度の当初予算の総額は？

[答 → 349億5,200万円]

問② 4月開校の全寮制の女子サッカースクールの名称は？ [答 → 小美玉フットボールアカデミー]

問③ 平成25年第2回定例会の開催日は？

[答 → 6月6日]

皆さんから寄せられた声です

～クイズ応募者、傍聴者の方から寄せられた声を掲載しています～

- ▶ 『空の駅』の開設、楽しみです。他の道の駅に負けない様な特色ある特産物、B級グルメ等、市民の意見を取り入れ、大人より子どもまで楽しめる様な施設にして欲しいと思います。(小川・男性)
- ▶ 羽鳥駅内に配付してあった議会広報を読みました。プレゼントクイズが目にとまり応募しました。日頃より議会に対して関心を持っておりますので、大変参考になりました。(土浦市・男性)
- ▶ 小美玉フットボールアカデミー開設おめでとうございます。指導者の松下潤氏は人間的にも魅力のある方です。一市民として応援しています。(幡谷・女性)
- ▶ このままの内容で続けてください。はじめてクイズに応募してみました。(下玉里・女性)
- ▶ この夏は茨城空港を利用して旅行する予定です。さらに行き先、便数が増えることを期待しています。(羽鳥・男性)
- ▶ スクールソーシャルワーカー増員について掲載されていましたが、少しずつでも増えて種々の相談内容に対応していただけるとありがたいと思います。(宮田・女性)
- ▶ 複式簿記での市の借入残高はいくらですか。県内平均より一人当たりの負債額が多いようですが。(羽鳥・男性)
- ▶ 前回応募時、希望ヶ丘公園の遊具の点検や修理を要望したら、今回、リフレッシュ工事が行われると広報に載っていたので、ビックリしました。市としてもきちんと進めていてくれたのですね。ウォーキング歩道も素晴らしいです。ただ、照明やベビーカー、高齢者にも優しい気づかいレベルアップできたらと思います。(竹原下郷・女性)

ご意見・ご感想をお待ちしています

市政の動向や皆さんが選んだ議員の活動を

間近でご覧になってみませんか？

- ◆市議会では、市民の皆さんにかかわりの深い議案や請願などを審議しています。
- ◆市議会は一般に公開されていますので、誰でも自由に傍聴することができます。
- ◆市議会には、定期的に行われる定例会（3・6・9・12月の年4回）と、必要に応じて行われる臨時会があります。
- ◆小美玉市役所 本庁3階 議会事務局入り口の受付票に住所と氏名等を記入していただければ、傍聴できます。



■ 次の定例会は、9月5日（木）開会予定です

定例会 日程	会議等の主な内容	傍聴	
		可	否
9月5日 (木)	本会議 (開会、議案説明)	可	有
9日 (月)	本会議（～10日） (一般質問、議案質疑)	可	有
12日 (木)	常任委員会（～20日）	要確認	無
24日 (火)	広報特別委員会	要確認	無
25日 (水)	本会議 (報告、採決、閉会)	可	有



■ インターネットで市議会会議録を検索・閲覧できます！

今年10月から、市議会ウェブサイト上に会議録（本会議）の検索が簡単にできる「会議録検索システム」を導入します。ぜひご利用ください。

※平成18年4月以降の会議録（製本したもの）は、下記施設でもご覧いただけます。

小川図書館 玉里図書館 美野里公民館図書室

編集後記

古典芸能や武道などの習い事に3つの段階を表す守破離（しゅはり）という言葉があります。

守（しゅ）は師の教えのもと基礎の修得、破（は）は基礎の上に創意工夫を重ね殻を破る、離（り）は更に研鑽を高め自ら進むべき道を切り開く、基礎・応用・自立という成長の過程を表しています。

さて「議会広報おみたま」も皆様に分かりやすい紙面を目指し研究を重ねています。

守破離に例え、私たちのまち小美玉市が成長する過程を引き続き広報を通してお伝えして参ります。

（谷仲）

発行編集責任者

議長 村田 春男

議会広報特別委員会

委員長 小川 賢治

副委員長 中根 要樹

委員 戸田 見成

委員 関口 輝門

委員 福島ヤヨヒ

委員 長島 幸男

委員 谷仲 和雄